

芸閣

～図書館だより～

第9号
2021年2月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



今年の節分は2月2日でした

例年、節分は2月3日。でも、今年の節分は2月2日でした。2月2日になったのは1897年以來のことで、なんと124年ぶりだそうです。

「立春」の前日が「節分」。1年の長さは厳密には365日＋約6時間で、閏年（うるうとし）などの要因もあり、立春がずれるのだそうです。それで、節分もずれるわけです。

来年はまた2月3日に戻りますが、2025年の節分は2月2日。しばらくの間は閏年の翌年の節分は2月2日になるので、4年ごとに節分は2月2日。そして、2057年と2058年は2年連続して、節分が2月2日になります。今年の節分は124年ぶりに2月2日になったのですが、これからは2月2日になる頻度が多いですね。

ちなみに、37年前、1984年の節分は2月4日でした。節分の日はずっと早くなったり遅くなったりするのですね。



第32回読書感想画中央コンクール

和歌山県審査

最優秀賞

1年A組 山崎心実さん

「未来へ走る」

(『ゴースト』ジェイソン・レノルズ 著)

第66回青少年読書感想文全国コンクール

和歌山県審査

優良賞

1年D組 田中真由さん

「遠い過去からのメッセージ」

(『フラミンゴボーイ』マイケル・モーパーゴ 著)

(裏面に新しく入った本の紹介を載せています)



桐蔭図書館の本がスマホからも 検索できるようになりました

検索画面のQRコード



桐蔭高校のホームページからも
検索できます。
トップページの
「図書館蔵書検索」
→「桐蔭図書館の本を探す」を
クリックしてください。



中学3年生のみなさんへ

借りている本は、卒業までに忘れず返却してください。

中学校卒業生は、高校生用の利用者番号に切り替える作業があるため、高校入学まで本を借りることができません。

高校3年生のみなさんへ

借りている本は、卒業までに忘れず返却してください。

高校卒業生に対しては、受験対策等の特別な事情がある場合にかぎり、3月中も本を貸し出します。図書館へご相談ください。

新しく入った本の紹介

日本の小説

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ 著 中央公論新社

『少年と犬』 馳星周 著 文藝春秋

『アンと愛情』 坂木司 著 光文社

『雲を紡ぐ』 伊吹有喜 著 文藝春秋

『巴里マカロンの謎』 米澤穂信 著 東京創元社

『オルタネート』 加藤シゲアキ 著 新潮社

なるにはブックス

『自衛官になるには』

『裁判官になるには』

『青年海外協力隊員になるには』

『国際公務員になるには』

その他

『中高生からの防犯』 武田信彦 著 ペリカン社

『和歌山県の祭りと民俗』

和歌山県民俗芸能保存協会 編 東方出版

『「織細さん」の知恵袋』

武田友紀 著 マガジンハウス

『ミュージアムを知ろう』 横山佐紀 著 ペリカン社